

今年の夏はとにかく暑い！と思われている人は多いと思います。そんな中体調を崩されているかたは数多いと思います。機械も人間同様で暑い夏は調子を崩しがちになります。そんな時通常のメンテナンスを怠っていると思ってもよらぬトラブルがおき大きな痛手となりかねません。今回は今年の夏におきた思いもかけないトラブルや多くおきた故障事例をご紹介します。ぜひ読んでほしいと思います。

真夏の出来事の話

1. 本当にあった怖い話

7月某日 日頃の職務が溜まっていて休日出勤をしている昼下がり、向かいの車両置き場より大きな爆音がし慌てて駆けつけてみると、無残にも破損したタイヤと破壊され建物を目の当たりにしました。どこのバカものが悪さをしたのかと、あたりを調べましたがその痕跡は無く、まさに真夏の昼の出来事でした。下の写真を見てもらえばある程度は分かると思いますが、原因は傷付いたタイヤを放置状態で保管していた為、傷付いた箇所から雨水が入り込みタイヤの鉄の部分を腐蝕させその腐蝕した部分がタイヤの空気圧に負け破裂したものと分かりました。もしこれが装着しているタイヤであったらと考えますとゾットします。



破裂したタイヤ

よく見ると錆付いている。



破壊された建物

タイヤの摩耗・傷・空気圧に十分注意して機械を使用する事と保管方法にも十分留意してください。

2. ラジエーターの水が逆噴射！

今年の夏横浜工場が扱ったエンジンオーバーヒートの件数は7月から8月はじめまでで、4件を超えます。暑い夏を考えれば当然の数字かもしれませんが、裏を返せば日頃のメンテナンスが不十分であった事は否めません。

エンジンオーバーヒートの3大原因

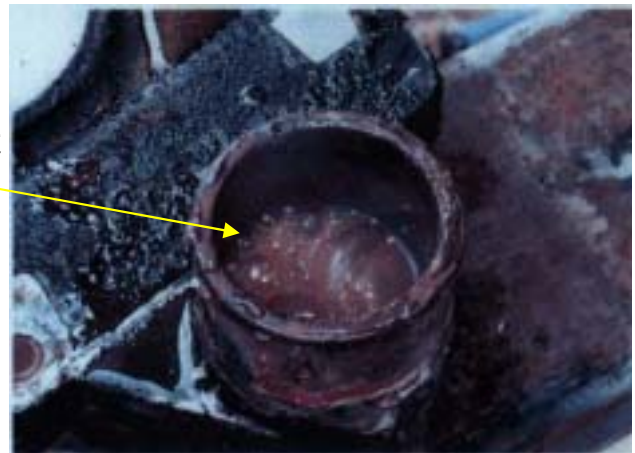
1. ファンベルトの摩耗による切損
2. ラジエーターホース及び冷却系統のホースの劣化によるホース破損・水漏れ
3. ラジエーターの内・外部の汚れつまり及冷却水の汚れ

右の写真はエンジンのオーバーヒートと直接は関係ありませんが、水冷式のラジエーターの冷却水取り入れ口の写真です。ごらんの通りこんなに汚れた冷却水ではエンジンその他の機器を冷却どころではありません。

ちなみにこの修理費用は部品代含め約100万弱かかりました。

前にもお話したとは思いますが、横浜市営バスでは定期的にラジエーターの水交換することによりこのようなトラブルが激減したときいています。

是非定期的メンテナンスを心がけてはいかかでしょうか！



夏の番外編の話として、乗用車のバッテリーが売り切れているようです。ひときわ暑い夏を迎え過度なエアコンの使用が原因と思われる。これも定期的にバッテリーを交換していればおきない話で、いざという時困らないように定期的メンテナンスは必要な事と思います。定期的なメンテナンスをせず修理費用が高いと嘆くのではなく、定期的に各油脂類・冷却水・ホース・ベルト・バッテリーなどを交換することを是非お願い致します。

以上 ご不明な点、分からない事がありましたら国際サービスにご相談ください。